

Country Side A

■住 所：〒939-1654

南砺市福光栄町1036-2 パークサイドアベニュー栄町

■発 行：自由民主党富山県議会議員会 ■発行責任者：武田 慎一

TEL (0763) 52-2120 FAX (0763) 52-0009

24時間365日ホットライン

090-3760-0106

(悩み・不安・痛み・苦しみなど何でも相談)

HP <http://www.t-shinichi.com/> E-mail: shin_3000jp@yahoo.co.jp

尚この県政通信は「たけだ慎一」のホームページでも見る事が出来ます



令和4年6月13日 2年ぶりに本会議一般質問に登壇

聴覚障がい者支援等に係る障がい者福祉政策を質す。

手話通訳士にも参画いただき議場傍聴者やテレビ・ネット視聴者に対しても分かりやすい環境づくりに配慮をさせていただきました。

Q 障害者アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法により手話・点字など意思疎通手段確保に万全を期す必要があると思うが。

A 木内厚生部長
記者会見同時手話通訳、県ウェブサイトでの文字サイズ、色使いへの配慮や読み上げソフト対応、本庁舎での専任手話通訳者の配置を行っている。

Q 県内の難聴児は73名だが新生児聴覚スクリーニング検査費用等について検査費用の助成の取組みを促進すべきと考えるが、市町村の負担を減らすことはできないか

A 木内厚生部長
県内新生児聴覚検査の受診率は平成28年度以降99%以上となっている。現在12市町村で公費負担が行われており、今後も国の地方財政措置を見据え支援に取組んでいく。



当時の木内部長

ご挨拶

みなさん、こんにちは。

新型コロナウイルス感染症も第7波に入り多くの方々が感染され辛い思いをされておられることとお見舞い申し上げます。私本人も2月にデルタ株からオミクロン株に切り替わり陽性判定を告げられ10日間の療養を余儀なくされました。当時、親切に検査・診察・看護・お世話いただきました砺波厚生センター、南砺市民病院、アパホテル高岡丸の内、そして家族等、それぞれの場面でそれぞれのお立場でありがとうございました。感謝いたします。

デルタ株にみられました県内の再感染者は昨年未までは1人でした。今年に入りオミクロン株は弱毒化したとはいえ感染力が強く6月までに再感染者は139人となりました。

そこで7月から新たに発見されましたB.A.5株はさらに弱毒化されたものの、感染力は、さらに強く特に幼児・児童に多く感染する事態となったのです。そこから父母、祖父母と感染が広まり身近な人たちが療養期間を強いられる事態になっているのが現状です。世の中も気分や捉え方も慢性化し経済活動はそんなに鈍ってはいないと感じますが、観光関連企業からは「キャンセルが出てきた」飲食店からも「かなり苦しくなってきた」との声を聞かせていただいております。GOTOトラベル再開は少し遠いようですが、人々の動きは、それなりの配慮をされ、工夫をしながら行動をされておられる感があります。市民県民のご安全をお祈りいたしますとともに、武田慎一に対し辛辣なご意見を賜りますようお願いいたします。

富山県議会議員

武田 慎一

「子どもの権利を考える」

南砺市では、おそらく11月ぐらいに(仮)「こどもの権利条例」が制定されるであろうと予感がある。何故なら、南砺市が誕生したのが11月だからだ。ただ、そんな単純な考え方からである。「僕なんか生まれてこなきゃよかった」「あなたなんか産まなきゃよかった」「こんなやり取りから子どもの自己肯定感がなくなってくる。そんな思い出を持つ一人として堂々と「南砺市に生まれてよかった」、「この両親のもとで育ってよかった」と、思えるような条例が策定されようとしているのである。

・**子どもは**、あらゆる差別や虐待、いじめなどを受けることなく、いのちが守られ、平和で安全な環境のもとで、安心して生きる権利が尊重される。

・子どもの思いを受け止め、相談に応じ、これに応え、子どもが安心できる生活環境を守る。

・**保護者は**、家庭において安心して子育てをし、子どもの権利を保障していくために必要な支援を受けることができる。

・**市民は**、地域において子どもの権利を保障していくため必要な支援を受けることができる。

おそらく、このような内容が記されると思います。

この事によって、田中市長が命を懸けて子どもたちを守っている。貧困世帯や生活困窮者を守る。それを地域住民や行政が一体となって取り組む、そんな姿が見えてくると思います。



8/6 じょうはな座にて 明橋大二先生のシンポジウム

南砺市こどものえがおクリニック

開院から14か月、延べ800人以上の診察をしていただきました。砺波市等の方から南砺市はいいね！羨ましいとまで言われております。とかく、県内には児童精神科医が少なく子どもの発達障害や不登校、うつなどの悩みを正しく診察・診断いただけないのが現状でした。最近ではニーズも多く、富山赤十字病院、射水市民病院に児童精神科等が設置され、とても良いことだと思います。

先生方の悩み

不登校の子どもの居場所が少ない(自宅と学校の間点)ので、できれば利用料が無料もしくは少額の居場所を作っていただきたい。

気兼ねすることなく、自信をもって居られるように。



児童精神科医 高木英昌先生 公認心理師 山下委希子先生と

今後の課題は

・子どもコミッショナー制度の確立
・プレイパークや不登校児童生徒の居場所の整備
・学校での権利条約(条例)の啓発

Q、子どもコミッショナー制度

Q、プレイパーク子ども達の遊び場

<https://playearthpark.goldwin.co.jp/>

子どもコミッショナーとは、子どもの側に立って、子どもの権利や最善の利益が守られているかどうかを監視し、子どもの代弁者として活動する人を言います。子どもオンブズマンとか、子どもオンブズパーソンと言われることもあります。

大人に比べて、子どもは行政や学校、施設に意見を伝えたり、改善を求めたりすることが難しく、結果として被害を受けても十分子どもの思いが汲み取れないまま、放置されたり、不適切な対応をされたりすることがあります。そこで子どもコミッショナーは、子どもの思いに寄り添い、子どもの代弁者として、独立した立場で、調査を行ったり関係者に聞き取りをしたりして、実態を把握し、必要に応じて行政や学校、施設に勧告や意見表明を行う役割を担います。1981年にノルウェーで制度化され、欧州ではすでに47カ国中、34カ国で導入されており、アジアでも、インドネシアやフィリピンには設置されています。しかし日本ではまだ導入されておらず、2019年には国連から、早急に日本も導入するように勧告を受けています。子どもコミッショナーの設置は、子どもの権利を保障する上で大きな力になり得ますし、すでに世界の潮流になりつつあります。

日本の子どもたちは世界の子どもたちと比べると自国を誇り自国の将来について考えることが、低いとされます。そんな、考えようとする困難を突破できるよう大人たちの責任において土台を作っていくのでは

ありませんか。そのためにも「富山県は南砺市がやる事ですよ」ではなく、考えや予算面でも協働でなければなりません。武田慎一も県議会議員として命の限り頑張ります。

令和4年6月定例会での主な質問（一般質問）



Q 佐渡島のユネスコ世界遺産登録を見据え富山伏木港より定期航路実現や本県観光産業の波及効果について長期的に取り組む必要があると思うが。

A（南里地方創生局長）
まずは、佐渡を含めた新潟県との相互誘客を進め、地域全体の広域誘客につなげ、中長期的な視野で、関係事業者や市町村等と連携し、地域の魅力発信につなげていきたい。



Q 砺波地区の県立高校に土木科・林産科の新設が必要と考えるが。

A（新田知事）
今後の学科の在り方を協議しているところであり、地域や産業界のニーズ、中学生の進路希望の状況を基本とし、時代の変化に対応した人材育成の観点から踏まえ、丁寧に検討を進める。



Q 成長戦略の中味として少子化対策・子育て支援策の具体内容が明確ではないが。

A（三牧知事政策局長）
総合計画と成長戦略の取組みによる子育て環境の整備をはじめとした少子化対策をしっかりと進める。子育て世代にとどまらず、多くの県民のウェルビーイングの向上を実現する。



Q 石川県との連携について、防災や医療、文化や県際道路等連携して、出来ることがたくさんあるのではないかと。また、両県を跨ぐランドマーク的なプロジェクトや特別会計を創設してはどうか。

A（新田知事）
「北陸は一つ」の認識である。首都圏のそれぞれのアンテナショップを相互に活用する。原子力防災に、ともに取り組む。北陸3県にてデスティネーション誘致が決定した。令和5年度末の北陸新幹線の敦賀開業を見据え広域観光、県際道路の整備を馳知事と十分協議し加速させる。



Q 県立南砺福光高校の跡地利用について、昨年12月まで、サウンディング調査をされたが、その具体内容と活用方針及びスケジュールはどうか。

A（荻布教育長）
サウンディング調査では8社から活用案が出された。内容としては、教育・人材育成施設、宿泊施設、住宅、スポーツ施設の提案があった。年内をめどに公募型プロポーザル開始に向けて検討準備を進める。



Q 本県の生活保護世帯の高校生の大学進学率が全国最下位であるが大学進学に係る支援状況はどうか。

A（蔵堀副知事）
経済的支援を必要とする世帯の負担軽減を図っていることは当然で、制度の周知をしっかりとやっていく。



能美市へ豪雨災害視察とボランティア活動へ

平成20年の南砺市豪雨災害の記憶が蘇りました。

石川県能美市へ
富山県商工会青年部連合会（中井将司会長）
南砺市商工会青年部（久恵健治部長）
（公社）となみ青年会議所（杉木裕矢理事長）
他富山県内青年団体の皆さんと共に



8/11 当日は富山県からは総勢43名の災害ボランティアメンバーが能美市に駆け付けました。大変ありがとうございました。感謝しております。



富山ブランド特集

『富山干柿とあんぽ柿の輸出状況と今後の展開について』



台湾パイナップルを前に…

5/24 富山干柿・あんぽ柿のさらなる輸出促進に向けて蔵堀副知事や農林水産部へ要望活動

実を言うと日本ではおやつヨーロッパでは高級スイーツ国内の農産品輸出額は1兆円→1兆2千億円までに!!それを5年かけて10兆円にする計画ですので、高く売れるものをより多く売る事になる

そこで課題が
●担い手 ●飼料 ●肥料 ●燃料の高騰



あんぽ柿



宮内庁へ献上品としてお届けしました。



富山ブランド富山干柿
年間出荷額6億円
輸出額（主にアジア）5千万円
この輸出額を1億円まで押し上げるのが目標です。



種有り



種なし（製品にはならない）



柿の木剪定講習です。
東太美地区・大鋸屋地区です。
着果率が高く摘果が慌ただしくなりそうです。



7/6 東太美地区にて 柿の木剪定講習